

代表質問



定住人口の増加は高齢化問題を緩和するとともに地域のにぎわいを創出する。

Q 子育て世帯を中心とした若者世代の定住に向け、切れ目のない子育て支援の充実や子どもたちへの積極的な投資など市独自の施策を進めているが、持続可能な制度となっているのか。

A 国や府への要望活動を行いながら歳入の確保に努め、子育て支援策の優先順位を部局内で議論しながら持続可能な運営を図る。

Q 町会加入率が低下し、地域活動の担い手の固定化と高齢化が顕著になる中で、町会に依頼している行政サービスをどのように継続して市民に届けるのか。

A 町会の負担軽減につながるよう

その他の主な質問項目

- 副首都時代を見据えた都市戦略及び行政形態の将来的選択肢
- 中学校給食費無償化における今後の方向性
- 無痛分娩実施の人員体制
- めざしている経常収支比率
- ごみ袋の配付方法を今後も継続できるのか



安心安全な生活環境の確保のため、下水道施設の計画的な耐震化が進められる。

Q 子育て世帯を中心とした若者世代の定住に向け、切れ目のない子育て支援の充実や子どもたちへの積極的な投資など市独自の施策を進めているが、持続可能な制度となっているのか。

A 国や府への要望活動を行いながら歳入の確保に努め、子育て支援策の優先順位を部局内で議論しながら持続可能な運営を図る。

Q 町会加入率が低下し、地域活動の担い手の固定化と高齢化が顕著になる中で、町会に依頼している行政サービスをどのように継続して市民に届けるのか。

A 町会の負担軽減につながるよう

その他の主な質問項目

- 消防本部庁舎建て替えのスケジュール
- 市職員のシビックプライドを喚起する取り組み
- 近鉄八尾駅周辺の再整備
- 指定ごみ袋の配付方法や無償配付の課題
- 郷土愛育成に向けた学校教育



少子高齢化が進む中

持続可能な行政を

大阪維新の会
おくたのぶひろ
奥田 信宏



Q 子育て世帯を中心とした若者世代の定住に向け、切れ目のない子育て支援の充実や子どもたちへの積極的な投資など市独自の施策を進めているが、持続可能な制度となっているのか。

A 国や府への要望活動を行いながら歳入の確保に努め、子育て支援策の優先順位を部局内で議論しながら持続可能な運営を図る。

Q 町会加入率が低下し、地域活動の担い手の固定化と高齢化が顕著になる中で、町会に依頼している行政サービスをどのように継続して市民に届けるのか。

A 町会の負担軽減につながるよう



時代の変化に即した

公共のあり方を追求

八尾保守の会
まつだのりゆき
松田 憲幸



Q 子育て世帯を中心とした若者世代の定住に向け、切れ目のない子育て支援の充実や子どもたちへの積極的な投資など市独自の施策を進めているが、持続可能な制度となっているのか。

A 国や府への要望活動を行いながら歳入の確保に努め、子育て支援策の優先順位を部局内で議論しながら持続可能な運営を図る。

Q 町会加入率が低下し、地域活動の担い手の固定化と高齢化が顕著になる中で、町会に依頼している行政サービスをどのように継続して市民に届けるのか。

A 町会の負担軽減につながるよう

Q 子育て世帯を中心とした若者世代の定住に向け、切れ目のない子育て支援の充実や子どもたちへの積極的な投資など市独自の施策を進めているが、持続可能な制度となっているのか。

A 国や府への要望活動を行いながら歳入の確保に努め、子育て支援策の優先順位を部局内で議論しながら持続可能な運営を図る。

Q 町会加入率が低下し、地域活動の担い手の固定化と高齢化が顕著になる中で、町会に依頼している行政サービスをどのように継続して市民に届けるのか。

A 町会の負担軽減につながるよう

代表質問

R8
3
月定例会

代表質問とは、議員が所属する会派を代表して行う質問のことをいいます。八尾市議会では、所属会派の人数に関わらず、答弁を含まずひとり50分の持ち時間となっています。



物価高騰の影響から

生活者を守る政策を！

公明党
みなかた
南方 武



Q 国の交付金を活用した物価高騰対策が実施されているが、市の財源を大胆に投入し、市民が効果を実感できる、さらなる対策を講じるべきかどうか。

A 物価高騰の影響を大きく受ける、すべての市民への支援策に加え、食料品の価格上昇が続く中、子育て世帯の経済的影響を踏まえた政策展開も必要であり、支援策を検討する。

Q 小・中学校体育館のスポットバズーカについて、冷房が十分に効かないとの声が上がっている。令和8年夏までの機能改善を強く求めてきたかどうか。

A 冷房能力の改善を求める声が強いことは認識しており、令和8年度内には全校で安全で快適に使用できるよう、環境整備に向け、早急に対応を進める。

Q 町会加入率が低下する中、市民の不公平感を解消する観点から、防犯灯の維持管理を市が直接実施する手法へ全面転換すべきと強く求めてきたかどうか。

A 市が直接維持管理する抜本的見直しを行う。令和8年4月に地域へ説明を行った後、電気料金を全額補助し、令和8年度内をめどに市へ所有権を移転する予定である。

スポットバズーカとは

体育館などの広い空間で、必要な場所に強力な風を送り込める大風量スポットエアコンのこと。
本市では、室内機と室外機が一体型になったものを設置しているが、閉め切った大型施設では、排熱を室外へ排気する別置型の方が本来の冷却性能を発揮しやすいとされており、別置型への改修工事が予定されている。

その他の主な質問項目

- 不登校や重いアレルギーなどで給食を食べられない児童への平等な支援
- 市立病院の待ち時間表示システムの導入
- 5歳児健診を早期実施すべき
- 廃食油の航空燃料(SAF)への活用

代表質問

八尾の未来を紡ぐ会 吉村 拓哉



まちづくり構想 子育て世帯等の定住促進

Q人口減少と少子高齢化が進む西郡地域におけるまちづくりの取り組みとして、若者・子育て世帯の居住誘導を図るため、既存市営住宅のリノベーションなど、多様な住宅供給が予定されているが、その規模は。

A令和8年度においては、民間のノウハウを活かしたりリノベーションの設計業務や入居者が住宅の改修を自ら行えるよう内装撤去によるDIY住宅化工事などを実施し、それぞれ2戸を予定している。今後は応募状況を勘案し、活用回数等について検討していく。



若者・子育て世帯の定住促進に向けた住環境整備が予定されている市営西部住宅。

Q市営住宅において、以前から生活音に関する相談が寄せられているが、今後の改修等も踏まえた防音対策について、市の見解は。

A音に関する相談が多数寄せられていることは認識している。入居者へのマナー向上の呼びかけやルールの周知を図るとともに、今後予定されているリノベーションや改修の機会において、防音面への対応を検討していく。

その他の主な質問項目

- 無痛分娩導入における市立病院の現状と課題
- 空飛ぶクルマ運用方法と課題
- 職員の離職原因と対応策
- 可燃ごみ等収集運搬業務の民間委託における対応策と課題
- 行政DX推進の現状と今後の方向性

新声 やまなか 山中 宏



すべての事務事業に 改革の決断を

Q市の業務において、これまでAIやRPAの導入を進めてこられ今後、さらなる拡大が求められると考えるが、令和8年度においてRPAの新規導入予定はあるか。

ARPAの利用について、現在、実施手法の見直しを含めた検討を行っており、さらなる業務削減の実現を図っていききたいと考えている。

Q令和7年1月導入の生成AIが行政運営にもたらした効果や今後の展望は。

A導入後、10か月間で約1万6千件の利用実績があり、業務効率化や行政サービスの向上に非常に効果があるものと認識している。今後のさらなる利活用に向けた環境整備や啓発を進めていきたい。

RPAとは

ロボティック・プロセス・オートメーションの略。パソコン上のデータ入力や集計など、人が行っている定型業務をソフトウェアのロボットが自動化する技術のこと。業務効率化、コスト削減や人的ミスの解消といった効果が見込まれる。

その他の主な質問項目

- 行政DXの観点から申請手続の簡素化、オンライン相談及び業務効率化システムを導入すべき
- 財政調整基金の残高見込み、今後5年間の財政収支見通し及び基金枯渇リスク
- 八尾空港西側跡地開発
- 消防本部庁舎の整備方針

日本共産党 田中 裕子



市民の命、未来を守る 平和活動の強化を

Q八尾空港における米重機の飛来について、目的を把握し自衛要請を行うべきだがどうか。

A日米地位協定に基づくものであり、自衛要請を行う予定はない。

Q日米軍事拠点となり得る懸念がある自衛隊八尾駐屯地の拡張に反対を表明すべきだがどうか。

A修学旅行費は就学援助制度の対象となる保護者に費用の一部を援助している。奨学金の対象者拡大は、制度の公平性や中長期的な安定運営の視点など総合的に判断しながら検討していく。

中小受託取引適正化とは

旧下請法を改正し、事業者間における価格転嫁及び取引の適正化を図ることを目的とした法律のこと。委託事業者が中小受託事業者に対して価格協議を行わずに一方向的に代金を決定することなどの不当な行為を禁止している。

その他の主な質問項目

- 市長の政治資金パーティー
- 聴覚障がい者や手話通訳者等関係者への実態調査
- 働く女性を取り巻く現状の認識と課題解決の方策
- 学童トイレに関する進捗状況
- 国民健康保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料の引下げ

至誠会 たなか 田中 慎二



公民連携手法による 施設整備の最適化を

Q人口減少社会において、従来型の公共投資を継続することは困難である。そこで、市民的要請が高く、一定規模の事業量が見込まれる施設や設備について、PFI方式等の活用により財政負担の平準化等を図り、事業手法そのものを再設計することで事業可能性が広がるかと考えるが、市の見解は。

A八尾市PPP/PFI手法導入優先的検討規定にのっとり、PFI方式及び設計・施工・維持管理を一体とした事業手法を含む公民連携手法による事業可能性を優先的に検討している。また、その他の事業についても内容により、従

Q新やお改革プラン2・0実行計画において、未利用地の有効活用などを取り組みに位置づけており、今後、売却や貸付け等による歳入確保を進めていく。活用方針の検討対象は、公有財産すべてを基本としつつ、特に、取得目的と異なる用途で活用されているものを考えている。

PFIとは

プライベート・ファイナンス・イニシアティブの略。公共施設等の建設、維持管理、運営等に民間の資金とノウハウ（経営・技術的能力）を活用する手法。行政が直接行うよりも効率的で質の高い公共サービスを提供し、同時に事業コストの削減を図ることを目的としている。

その他の主な質問項目

- 社会参加型介護予防の推進にPFIを活用する上での成果の定義や事業効果の客観的検証方法
- 八尾空港西側跡地の有効活用と国道25号大阪柏原バイパス整備の到達点
- 行政DX推進におけるEBPMの位置づけ

▶ QRコードから、各議員の質問の映像を見ることができます。